

# 甲信ユニットセンター（山梨大学）

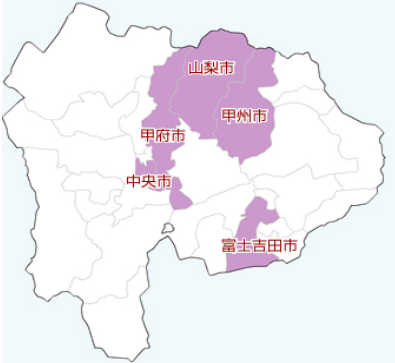
## 実施体制

参加対象者人数（子ども） **3,983名**

### 調査対象地域

#### 山梨県

- ◆ 甲府市
- ◆ 中央市
- ◆ 山梨市
- ◆ 甲州市
- ◆ 富士吉田市



山梨大学大学院の附属機関として、2011年に「出生コホート研究センター」が設置され、医学部の複数の講座と連携して、山梨県内におけるエコチル調査を実施しています。

スタッフは教員6名、リサーチコーディネーター6名、事務職員7名の計19名。そのほとんどが参加者リクルートの時からのメンバーで、調査業務を通して、お子さんたちの成長を見守っています。



## 参加者とのコミュニケーション活動

### 小学6年生 学童期検査と総合健診

2023年7月から、小学6年生になったお子さんを対象とした学童期検査がスタートし、身体計測や発達検査、採血を行っています。

山梨大学では追加調査として、学内9講座が連携し、「総合健診」も実施しています。独自調査として重心動揺計や経皮的AGEs（終末糖化産物）の測定、歯科健診、眼科健診などを行い、健診結果を当日、お返しています。



### 13歳以降の調査継続について

エコチル調査が13歳以降も続いていくことが決まり、お子さんが小学6年生になったご家庭から、エコチル調査アプリのダウンロードなど、調査を継続するための準備をお願いします。

エコチルやまなしでは、0歳～12歳までの6人の子どもたちで構成していたオリジナルキャラクターの「ぼこっち」に、新たに男子中学生と女子高校生のキャラクターを作成し、調査の継続参加を呼びかけています。



### 「ぼこっちらぶ」の活動

2020年7月から、エコチル調査に参加しているお子さんを対象に、いろいろな学びや社会活動を体験してもらう「ぼこっちらぶ」を発足しました。

これまでに絵手紙やパラSPORTSの「ポッチャ」などの体験会を行い、その様子をニュースレターで紹介しました。



### スタッフがブログを発信

エコチルやまなしのHPでは、リサーチコーディネーターや事務スタッフが、自分たちの子育ての体験談や日頃感じていることなどを題材にしたブログを発信しています。

こちらから  
みてね



### ニュースレター「こびつと通信」の発行

エコチル調査の進捗状況や研究成果を紹介するとともに、イベント報告やスタッフのコラム、子どもの健康や環境に関する情報を発信するツールとして、手作りの情報誌を年に2回発行しています。



### 10歳「タイムカプセル企画」

5歳の質問票に、メッセージカードと専用封筒を同封し保護者の方からお子さんが10歳になった時に送りたいメッセージを募集しました。

5歳の質問票と一緒に、「メッセージを記入したカードを返送してください！」と呼びかけたところ、1,783人の保護者の方から、お子さんに向けた心温まるメッセージが寄せられました。

お預かりしたメッセージカードは、5年間ユニットセンターで大切に保管し、お子さんの10歳のお誕生日に合わせて、プレゼントの文具セットとともにお送りしています。

